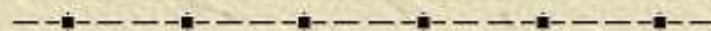


パウロの失敗？

シリーズ・パウロ
第17回



使徒言行録 15章36～41節

数日の後、パウロはバルナバに言った。「さあ、前に主の言葉を宣べ伝えたすべての町へもう一度行って兄弟たちを訪問し、どのようにしているかを見て来ようではないか。」バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたいと思った。しかしパウロは、前にパンフィリア州で自分たちから離れ、宣教と一緒に行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。そこで、意見が激しく衝突し、彼らはついに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出したが、一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキア州を回って教会を力づけた。

宣教旅行への再出発

✧ エルサレム会議での決定

- － 異邦人クリスチャンは律法を守らなくても良い

✧ アンティオキア教会に喜びの報告

✧ 宣教の旅に出たくてたまらないパウロ

- － 前回の宣教で救われた兄弟たちが気になる
- － 異邦人宣教に対する心配がなくなった
- － パウロはやる気満々だった

マルコをめぐる問題

- ✧ バルナバはマルコを連れて行きたかった
 - － マルコは前回の旅行の途中で帰ってしまった
- ✧ パウロはマルコを連れて行く気はなかった
 - － 足手まといになるから
- ✧ 二人は激しく対立
- ✧ 別行動をとることに
 - － 親友バルナバとの別れ



パウロの行動をどう見るか

✧ 正しい決断だった

- － 宣教の効率を高めるため
- － より自由に活動するために
- － マルコより宣教

✧ 間違った決断だった

- － 宣教の効率よりマルコを育てること
- － マルコのやる気をくじく
- － 親友とも決別してしまった

イエスとの違い

- ✳ 問題だらけの弟子たちを連れていた
 - － イエスを知らないと言ったペトロ
 - － 裏切り者のユダ
 - － 疑り深いトマスなど
- ✳ その弟子たちは師の危機を前に逃げた！
- ✳ 弱者に徹底的に寄り添うイエスの姿勢
 - － 「彼は傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さない。」＜マタイ12:20＞

晩年のパウロ

✧ マルコを信頼し重く用いた

- 「わたしと一緒に捕らわれの身となっている・・・バルナバのいとこマルコが・・・」＜コロサイ4:10＞
- 「マルコを連れて来ててください。彼はわたしの務めをよく助けてくれるからです。」＜Ⅱテモ4:11＞

✧ 弱い人たちを思い遣った

- 「気落ちしている者たちを励ましなさい。弱い者たちを助けなさい。すべての人に対して忍耐強く接しなさい。」＜Ⅰテサ 5:14＞

何を学ぶか

- ✧ 使徒パウロでも失敗？する
 - － 失敗から何を学ぶかが重要
- ✧ 神の関心は、私たちが何をしたかではなく、どうであったか、である
 - － 「成果主義」は人を破壊する
 - － 神は「成熟主義」である
 - － イエスは共に旅をするために（インマヌエル）
私たちのもとに来られた